

退任のあいさつ 町立病院副院長 谷口博生



この度3月31日をもちまして町立病院を退職いたしました。

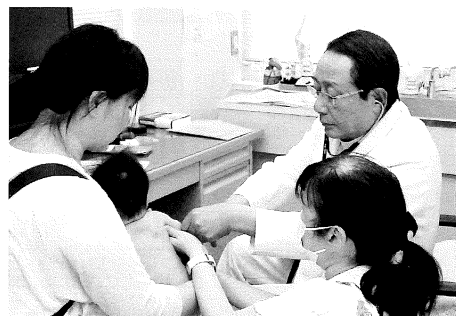
顧みますと、私は前任者の林先生の指導の下で、地域医療に従事いたしたく、昭和58年6月、中富良野町にまいりました。

以来35年10ヶ月にわたり、「患者様が教科書である」「病気を診ずして、病人（患者）を診よ」の教えに基づいて、医療に従事してまいりました。この間、多くの町民の皆様や患者様と接して医学を学ばせていただきました。長い間本当にお世話になりました。

昨年私は古希を迎えました。半生を過ごしました中富良野町は、私の第二のふるさとになりました。私が生まれ育った山口県萩市は中富良野町とフラワー都市交流により、つながりがあるということで、これも何かの御縁かと思っています。

今後は旭川の地に居を移しまして、有意義な人生を送ろうと考えております。

町民各位におかれましては、健康で幸多き日々を送られますようご祈念申し上げご挨拶といたします。



町立病院の医療機器を更新しました

この度、体内の疾患を発見する、電子内視鏡システムと内視鏡洗浄機が更新されました。

前システムは、平成18年11月に更新され約13年弱使用され、延べ施工検査数は約2750件になり、この間に胃がん、胃潰瘍、胃炎等の疾患発見に使用されました。

電子内視鏡システム

今回導入したのは、鼻から挿入可能で内視鏡の精度が向上し視野が広角になり、よく観察が出来る、検査時間も短縮がされ、患者様の苦痛を和らげるようになりました。



内視鏡洗浄機

従前の洗浄機の老朽化により、1台体制で洗浄をしていましたが、1日の検査人数が多くなると1台では時間も掛かり患者様に迷惑を掛けるため更新をし2台体制にしました。



■問い合わせ 町立病院 ☎ 44-2020